

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の 編集者名	書 籍 名	出版社名	出版地	出版 年	ページ
小出達夫	PATによるRTRT採用時の試験規格の取扱い		新GMP工場のレイアウト図と設備バリデーション	(株)技術情報協会	東京	2013	17-20

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
奥田晴宏、高木和則、長山敏	サクラミルS2モック：QbDの方法論による化学合成原薬開発モデル第1回 医薬品品質保証に関する国内外の最近の状況	PHARM TECH JAPAN	29	611-617	2013
松村清利、奥田晴宏	サクラミルS2モック：QbDの方法論による化学合成原薬開発モデル第2回 原薬の開発と製造における出発物質の選定とその妥当性	PHARM TECH JAPAN	29	1037-1043	2012
長谷川隆、中村博英、奥田晴宏	サクラミルS2モック：QbDの方法論による化学合成原薬開発モデル第3回 サクラミル原薬のキラル管理戦略	レギュラトリーサイエンス学会誌	29	1375-1380	2013
長谷川隆、中村博英、奥田晴宏	サクラミルS2モック：QbDの方法論による化学合成原薬開発モデル第4回 遺伝毒性不純物の管理戦略	PHARM. TECH. JAPAN	29	1763-1769	2013
長山敏、山田純、奥田晴宏	サクラミルS2モック：QbDの方法論による化学合成原薬開発モデル第5回 デザインスペースの設定(その1)	PHARM TECH JAPAN	29	1981-1985	2013
長山敏、山田純、高木和則、奥田晴宏	サクラミルS2モック：QbDの方法論による化学合成原薬開発モデル第6回 デザインスペースの設定(その2)	PHARM TECH JAPAN	29	2219-2222	2013
香取典子	薬局方の試験規格をPAT、RTRTへ適用する場合の諸問題-PATにおける製剤均一性試験法の判定基準について	PHARM TECH JAPAN	29	7-10	2013